

Nakayoshi Cycle

Newsletter

November 2020



目次

12 月定サイ告知	2年 波多野
11 月定サイ報告	2年 西田
駒代連載	2年 本橋
後閑杯のご報告	3年 青木
明神祭 2020 報告	3年 谷岡
編集後記	2年 小野

【12月定サイのお知らせ】

なかよしさいくるの皆様

こんばんは。12月定サイ担当のNC2年波多野です。

12月定サイでは幕張駅～成田駅を走ります。(55km くらい)

コースとしては幕張から花見川・新川・印旛沼 CR を遡ってその後成田に向かいます。

見どころ・名所は、佐倉ふるさと広場、房総のむら、成田山新勝寺(とその参道)などがあります。

開催日：12月13日(日)

集合：9:30 幕張駅

ルート：<https://ridewithgps.com/routes/34625840>

参加表明：以下のフォームよりお願いします。

締め切りは12/11(金)、備品貸し出しを希望される方は12/6(日)までとさせていただきます。

<https://docs.google.com/forms/d/1rzGiAVsmW4XUTF2JhmFvDQjVZab1UJpW2tsBj6>

[cgkQk/viewform?edit_requested=true](#)

皆様の参加をお待ちしております！

11 月定サイ報告

2 年 西田

1. 概要

11/3 に 11 月定サイを開催しました。今年は 5 月定サイがなかったことと私が 9 月に 1 度走っていたのもあって場所は三浦半島にしました。感染防止のため食事はテイクアウトで済ませるなどしました。

・ ルート

本来のルートは横須賀～三崎～逗子～鎌倉（50km、<https://ridewithgps.com/routes/34450877>）でしたが、逗子駅で解散となりました。

・ 参加者（敬称略）

1年生: 犬竹、木内、戸井、植木、新井、中村、加藤、金子、深谷、足立

2年生: 蓮沼、井田、波多野、上杉、一野瀬

4年生: 岡、泉田

2. 当日の流れ

・ 9:30 集合

担当者にもかかわらず家を出るのが遅くなり、ついた時にはほぼ全員揃っていて申し訳なくなつた。朝の天気がよくないことはわかっていたが、集合時に小雨が降っていたことで少し心配になった。出走前に班を数回入れ替えるなどバタバタした感じでの出走となった。

・ ～三浦半島

去年の記事を見て灯台（劔崎灯台）があることを知っていたので、私たちの班は最初にそこに行くことにした。初回の 1 年生もいたため、かなりゆっくりめに走って灯台に向かったが、他班がほぼまっすぐ城ヶ島に向かっていたのもあって、灯台を出る頃には私たちの班だけ取り残されるような形になってしまった。肝心の灯台については私が道案内を間違えてしまったため、灯台の下の海岸に出てしまい行くことができなかった（これはこれで楽しかったです）。灯台を出てからはまっすぐ三浦半島に向かった。



・ @三浦半島

集合写真を城ヶ島灯台で撮ることにしていたが目安の時間より少し早くついてしまったので私たちの班は馬の背洞門という有名な観光スポットに行くことにした。馬の背洞門では自転車を持っていこうというよくわからない提案をしてしまったが、おかげでそれっぽい写真を撮ることができた。馬の背洞門に行っている間に1つの班が城ヶ島を通り過ぎてしまったとの連絡を受け、写真を撮るために戻ってきてもらったが、私たちがだらだらしている間に彼らが灯台についてしまい、かなり待たせてしまった（すみませんでした）。またリサーチ不足で灯台では大人数で写真が撮れないことが発覚し、付近の岩で集合写真をとった。その後はテイクアウトのできるお店を教えてもらい、そこでテイクアウト海鮮丼をいただいた。店主がとても優しく、魚のフライと烏龍茶をサービスしてくれたので力がみなぎった。



・～逗子

集合写真を撮り終えた時に 16:30 逗子解散の連絡を入れたが、ランチを終えたのがなんと 15:00 時をまわっていたので、帰りはかなり急いで漕いだ。他班は 16:00 には逗子駅についていたそうので、早くつこうと懸命に移動したものの、サークル車がパンクして力尽きてしまった。その時点で解散ということにして、パンク修理をしたのち私たちの班は逗子駅に向かった。帰りは私の班のサークル車を使っていた1年生と一緒に駒場まで行って終了となった。



3. 反省点

×指示が中途半端

ランチの時間がずれたり、集合写真を撮るのにもなかなか揃わなかったりしてしまいました。

×ルートに城ヶ島を入れていなかった

このおかげで城ヶ島を通り過ぎてしまった班が出てしまいました。

×担当者の班が大幅に遅れてしまった

事前にサークル車の返却を駒場で行おうとアポを取っていましたが、私の班がかなり遅くなったため結局返却は叶わず。返却予定だった方々と一緒にいた班の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

4. 終わりに

今回参加して下さった新入生、上級生、執行代の方々は本当にありがとうございました。特に2年以上の方々は2年生以上のメンバーが少ない中、運営に協力してくださり、とても助かりました。いろいろありましたが、皆様のおかげで充実した定サイになりました。ありがとうございました。



駒代連載（9月半ば、丹後半島へ）

駒代 本橋悠人

ひさしぶりの投稿となってしまいました。私は下宿先を離れ京都の実家で大学2年のほとんどもを過ごすことになっています（直接のランの運営から長らく離れてしまっていて特に二年生の皆さんには大変お世話になっています、ありがとうございます）。そして多くの一年生からしたらこいつだれ？という感じなのがすこし残念、、、。一緒に走れる日を楽しみにしています。

今回の記録は夏休みの終わりに高校の同級生と行った丹後半島です。「来週どっかいこ〜」という一言のラインから始まったこの旅行、GOTOトラベルの恩恵も頂きながら遊んできました。

まだ空も暗い5時過ぎにスタート。
京都はとてもいい天気



←しかしさすが霧の亀岡。京都市を出たらすぐにこの状況で、あ、、、、

この後は霧の中をずっと走ります。
紹介するべき良い景色もないのでこの記事は終わりとします。
短い間でしたがお付き合い頂きありがとうございました。
(完)

ということだったら流石に記事にしませんのでご安心を。よく考えたら前ページの写真の撮影時間はまだ6時台。時間とともに温度も上がり非常にいい天気。



京都は日本海寄りというイメージがないかもしれませんが意外と近い。午前中のうちに日本海が見えてきます。

(ここで豆知識：撮影地は和歌とかで有名な大江山)



お昼ご飯でご当地 B 級グルメカレー焼きそばを get
+100 円で特盛ができるといわれたから何も考えずやったのらご覧の通りの大きさでおなかたふたぶです (まだ 50 km 以上走るんですけど、、、)。

右上にかすかに移るコップを見るとおかしさが少し伝わりそう (伝われ!)



丹後半島はひたすら up-down を繰り返します(辛くなったら国道に行けば高低差をかなりカットできるはずなのでそこは安心感があっていいですね)。でも険しい地形だからこそ色々見えるので体力が有り余る読者の皆さんは京都へ来たらぜひどうぞ



中央写真
お猿が出没↓



本当は翌日も長距離旅が続く予定だったのですが力尽きてこれからはゆるゆる食レポです。

1. 三養荘（京丹後市丹後町間人）

一泊で 8000 円くらいとすこし豪華な宿でした。(GOTO なしで普通だったら 1 万超えるはず)。半島の中にはあまり泊まる場所ありませんよ。普通は丹後半島まで電車とかできて一日で半島は通過するもの。

2. 富田屋（宮津駅前にある魚料理の店）

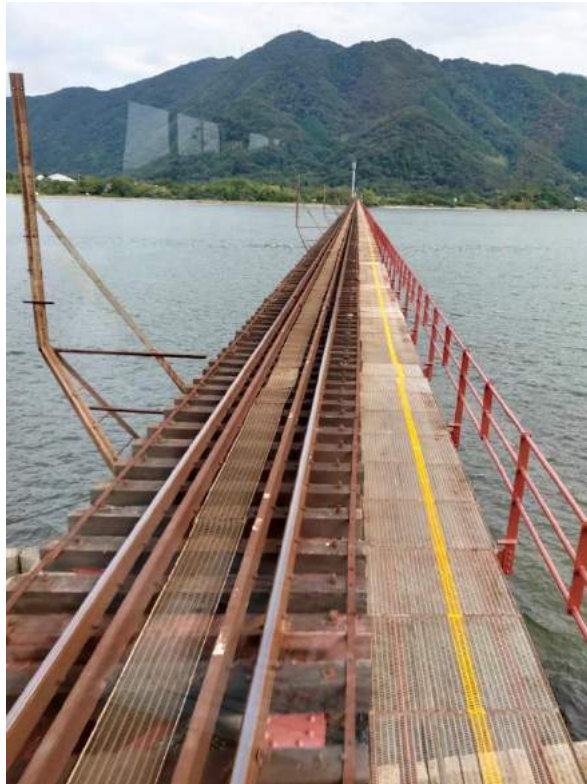
～1000 円でおいしい魚料理が食べられるお店。人気のお店なので時間には余裕をもって



1. 部屋からの景色



2. ↑のあら煮定食が確か 600 円くらいだった気がする

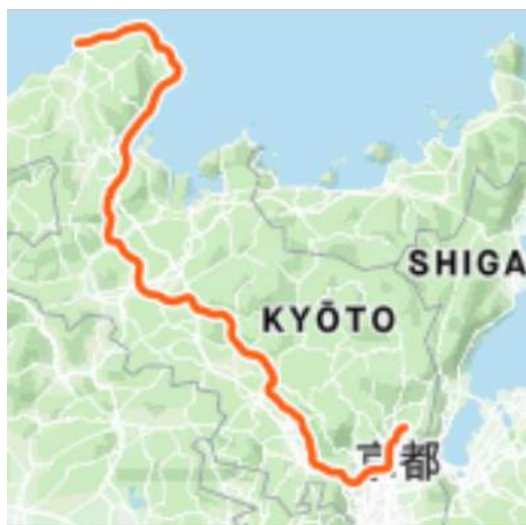


完

(丹後鉄道丹後由良駅・丹後神崎間の車窓)

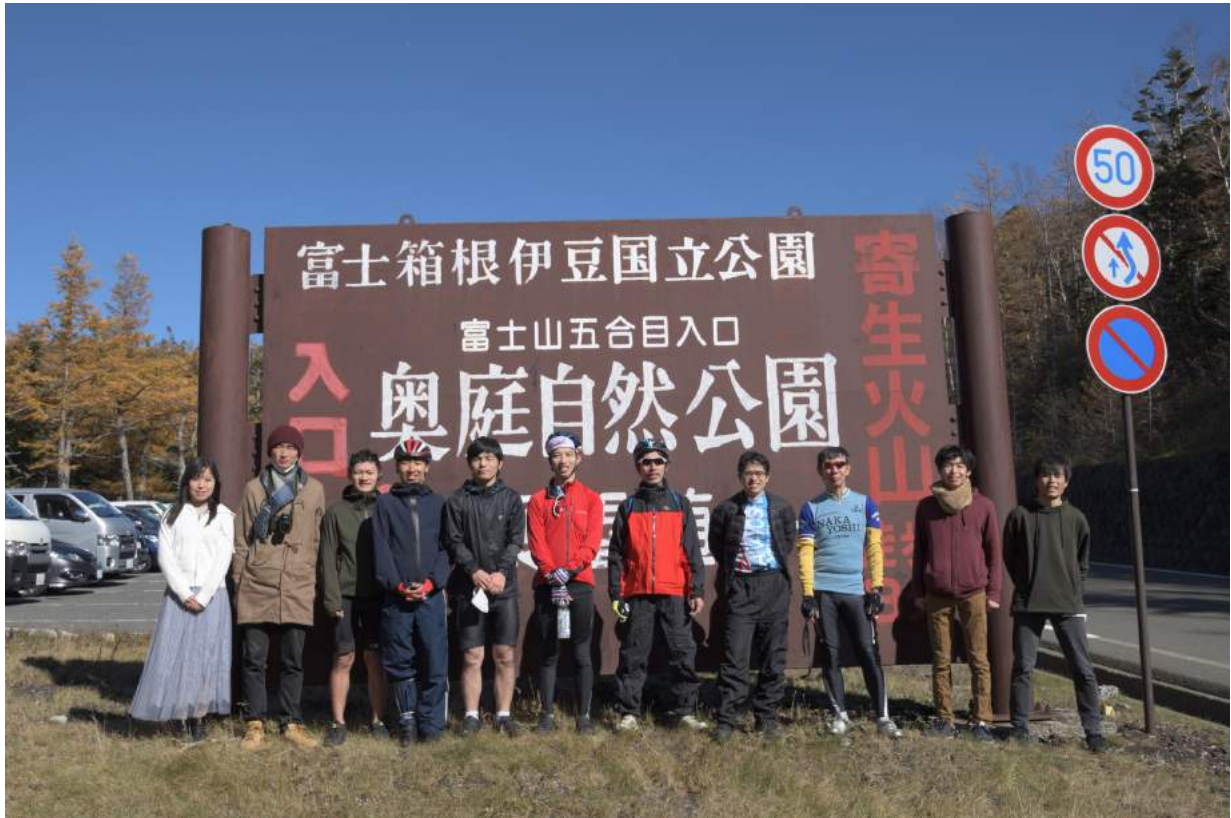
通過経路情報

一日目（京都市内スタート 5：30）～亀岡市～綾部市～福知山市～宮津市（13：00 頃）～丹後半島を反時計回りに回りました（夕方は北のほう走ると太陽まぶしすぎて危険なのでサングラスもつか、時間ずらすか、逆向きにするかですね（時計回り良いと思います））。二日目（9：30 くらいに宿出発）～13 時ごろの丹後由良で電車の写真を撮って終了です



後閑杯のご報告

3年 青木



0. はじめに

2020年10月24日、富士スバルラインにて後閑杯を開催しました。今年はCOVID-19の影響で活動休止期間があったこと、天候不良により延期開催となったことにより、出走者7人のみと小規模の開催になりました。出走者・サポーターの皆様、運営にご協力いただきありがとうございました。

1. 結果

順位	名前(学年)	出走時刻	到着時刻	タイム	前回出走時タイム	のびしろ	備考
1	高木(OB)	11:01:00	12:27:01	1:26:01	1:11:44	-	OB1位
2	加賀(3)	10:57:00	12:40:31	1:43:31	1:50:43	0:07:12	現役1位
3	本多(OB)	10:59:00	12:49:16	1:50:16	1:41:30	-	
4	別所(OB)	11:00:00	12:56:48	1:56:48	2:15:01	0:18:13	伸び1位
5	武縄(3)	10:56:00	13:02:34	2:06:34	2:00:56	-	
6	岡(4)	10:58:00	13:15:21	2:17:21	1:59:13	-	
7	山田(OB)	10:55:00	13:15:23	2:20:23	2:17:59	-	

【表彰・賞品】

- 1位：高木(OB) Mont Bell 防水シューズカバー
- 2位：加賀(3年) 加速度センサーつきリアライト
- 3位：本多(OB) マスク兼用ネックウォーマー

この他、高木さんから靴下を3足いただいたので4,5,6位の3人に参加賞として贈呈しました。
(山田さんごめんなさい…)

2. 会計報告

支出		収入	
内訳	金額	内訳	金額
レンタカー(ハイエース 24h)	15015	参加費(11人)	36300
高速料金(府中～河口湖)	1880	OB 寄付分	20100
高速料金(河口湖～富ヶ谷)	2500		
コインパーキング(駒場)	440		
コインパーキング(調布)	700		
補給	1277		
景品(防水シューズカバー)	5170		
景品(ネックウォーマー)	1980		
景品(加速度検知リアライト)	2970		
ガソリン代(31.38 L)	3734		
スバルライン通行料(自転車)	1350		
スバルライン通行料(サポート)	2100		
合計	39116	合計	56400

なかよしさいくるの将来を案じた OB 有志の方々が参加費を多めに払ってくださいました。ありがとうございます。差額の 17284 円はサークル費として口座に振り込みました。

3. サポート報告

準備段階から解散までのサポートの流れを報告します。

3.1. 前々日までの準備

準備は 8 月下旬から始動しました。今年は COVID-19 の流行により活動に制限がかかる中で、岡さんや本橋くんとも相談し、開催の方針を決定しました。今年はスポーツの日が 7 月に移動し(今年に限ってなぜでしょう、オリンピックでもやるというなら話はわかるのですが…)、10 月の 3 連休が消滅してしまったことで、例年のような中日開催ができませんでした。疲れが残ることを考慮して、10/17or24 の土曜日に開催することとしました。

9 月の頭に LINE および全体メーリス、会報で告知を行い、ハイエースを予約しました。今年は山中寮での前泊を募集しなかったため、ここから開催 1 週間前までは参加表明のリマインドを繰り返し、サポート不足に頭を悩ませるだけの日々を送りました。

1 週間前になり、毎年集合場所としている山梨県立富士山世界遺産センターの駐車場の利用許可を電話で申請しました。あとは景品を買えば OK! というところまで来たのですが、10/17 は雨予報だったのであえなく順延が決定し、参加者数も大きく減ることが確定してしまいました……。

参加者数が減ったことで一人当たりの参加費が高くなることを懸念し、サポートカーをプロボックスに切り替えることも考えましたが、参加者の意見も聞いて検討した時点ですでに予約が埋まってしまったため、ハイエースで決行しました。

レンタカーの予約変更と景品の買い出しを無事にすませ、あとは開催を待つばかりとなりました。

3.2. 前日の動き

開催前日の 10/23(金)20:00 に、トヨタレンタカー調布店でハイエースを受け取り、その足で駒場に向かいました。駒場で救急箱と工具と空気入れを積み込み、調布に戻って西友で補給品を買い込みました。調布のコインパーキングに車を止め、自宅に帰って 23:00 ごろに就寝しました。

3.3. 当日の動き

朝 6 時に予備として使う自分の自転車を持って家を出て、車を回収してからサポートメンバー各位と 7 時ごろに合流しました。同乗希望の加賀を含めて 5 人を乗せた車は中央道をひた走り、軽い渋滞に巻き込まれながらも 9 時には世界遺産センターに到着しました。

集合時刻が近づいてくると走者も集まり始め、集金と荷物預かりを済ませて 10:20 ごろに浦西と山口さんを送り出しました。彼らは料金所に先回りし、自転車の通行料金の支払いと、自転車が通過する専用レーンの設置交渉をしてもらいました。

青木と中村さんはスタート地点で待機し、10:55 から順次スタートを見送りました。浦西を料金所に残した山口さんが戻ってきてサポートメンバーを乗せ、ハイエースも五合目に向かってスタートしました。



何事もなければ料金所まで行って全員の通過を見届けた後に浦西を回収する予定だったのですが、途中で別所さんがパンクに見舞われているのを発見し、予備の自転車の後輪とホイールごと交換しました。別所さんは気の毒でしたが、サポートメンバーはプロのロードレース中継で見るようなシーンを目の当たりにしてちょっと興奮していました。

←ホイールを変えて疾走する別所さん

料金所で浦西を回収し、次のサポート地点である樹海台駐車場に移動します。ここでのサポートを中村さんに一任して、残る 3 人はゴール地点の奥庭駐車場に向かいました。奥庭で荷物を下ろし、青木と浦西がゴールしてくる走者を待ち構えている間に山口さんの駆るハイエースは樹海台に戻り、全員の通過を確認した中村さんを回収しました。

浦西が撮影、青木がタイム記録という分担で全員のゴールを確認し、記念撮影をすませたところで一旦解散とし、15:00 をめどに世界遺産センターで再集合することにしました。

サポートカーは五合目駐車場まで行って少しだけ観光してから下山し、世界遺産センターに戻って閉会式を行いました。賞品の授与と諸連絡を済ませて解散となりました。

イキる加賀→

3.4. 解散後

浦西と中村さんは別所さんの車に乗って帰り、ハイエースは青木・山口さんに加えて加賀・武繩を乗せて東京に戻りました。19時前に駒場に到着し、車の返却期限が迫っていたことから備品の返却は他3人に任せて青木は調布に向かいました。結局、返却は20時ちょうどになりました。



4. 感染症対策

COVID-19 の流行によって感染症対策を万全にすることが求められ、今年は運営面でいくつかの対応を行いました。

4.1. 前泊と打ち上げの取りやめ

例年行っている山中寮での前泊と解散後の打ち上げパーティーについては、その性質上感染リスクが高く、大学からも自粛を求める通達が出ていたため、今年はありませんでした。運営側としては単純に労力が減っただけで、困ることはありませんでした。

4.2. 集合時刻の繰り下げ

前泊の取りやめによって遠方からの参加が難しくなることを考え、当日朝に出発しても間に合うよう集合時刻を1時間繰り下げました。

4.3. 新入生の参加制限

夏学期を通じて新歓を含めたサークル活動が全くできなかったことで、今年入学の新入生は十分な経験を積まないままに後閑杯を迎えることになりました。

経験の乏しい新入生がスバルラインの長距離ダウンヒルを走ることはリスクが大きく、また、後閑杯の趣旨からは安全を最重視すべきであると考えました。そこで、自前のロードバイクを持っていてある程度経験のある新入生に限り参加を認めることとし、下りはサポートカーに乗って移動してもらうことを念頭に、参加数も5人程度に制限しました。



↑毎度タフすぎる本多さん

5. 反省点

5.1. 参加者層が高齢化した

今年の参加者は全員が3年生以上と、高齢化が際立ちました。新入生の参加制限や雨天順延による影響もありますが、今後の後閑杯の存続が危ぶまれる残念な事態になりました。執行代の参加が少なかったことは、我々3年生の代が彼らをヒルクライムに誘うことが少なく、山の楽しさを教えてこなかったことにも一因があるように思います。積極的に誘いましょう。

5.2. サポートカーは駒場の近くで借りましょう

今年は青木の家が近いというだけの理由で調布でハイエースを借りましたが、このことでいくつか苦勞することになりました。

例年は開催前日にサポートメンバーが集まって備品の積み込みを行い、そのままスバルラインまでともに行動していました。しかし、今年は狭い車内で車中泊を行うことがはばかられ、また積み込みのためだけにわざわざ駒場まで往復してもらうのも忍びなかったことから、青木が一人で積み込み作業を行いました。この備品が一人で運ぶにはあまりにも重く、サークル倉庫からキャンパスの外に止めたハイエースまで持っていくのが死ぬほど大変でした。



集合を遅らせたこともあってレンタカーの返却時間に余裕がなく、帰りは駒場まで行かず備品は後日戻せばいいと思っていたのですが、積み込みがあまりにしんどかったので当日中に駒場まで行き、人の手を借りて倉庫に戻すことにしました。その結果、駒場から調布まで1時間の道のりを戻らざるを得ず、かなり焦ることになりました。車の返却場所は渋谷や新宿など駒場の近くにしておいて、余裕を持って備品を戻せるようにしたほうが良いでしょう。

また、当日の朝早くに調布に集合してもらうことでサポートメンバーには負担をかけてしまいました。もう少し集合場所をよく検討するべきだったかもしれません。

←圧倒的な速さでサポートカーを焦らせる高木さん

5.3. 当日グダッた

ただでさえ例年より1時間繰り下げたスケジュールだったので、できるだけテキパキと進行したかったのですが、当日の進行には至らない点がいくつもありました。参加者の皆さんが早めに集合してくれたので出走も早めようとした結果、料金所に浦西を送るタイミングや走者の荷物をハイエースに積み込むタイミングがズレ、混乱をきたしてしまいました。結局、11:00 スタートの予定を10:30に繰り上げようとしたところから遅れに遅れ、10:55 スタートになりました。走者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

臨機応変な対応もいいですが、余裕を持って運営すべきだったと思います。

6. おわりに

例年とは異なる状況の中、ご迷惑をかけることもありましたが、参加者の皆様の協力のおかげで事故を起こすことなく後閑杯を開催することができました。改めてありがとうございました。この行事が来年以降も連綿と受け継がれていくことを願っております。



↑ドヤ顔の武縄と、仲良くゴールする岡さん&山田さん。



↑サポートお疲れ様でした！

明神祭 2020 報告

3 年 谷岡

0. はじめに

今年度も 11 月 1 日に明神祭を開催しました。去年は台風の影響でズタボロになった従来のコースに変更を加えていたので、今年こそはちゃんと走れると思っていましたが、結果から言うと足柄峠をパスすることになりました。なので今年は少し楽なコースになっています(僕はかなり疲れましたが)。

また、なぜか今年度は参加者が圧倒的に少なく、直前になって来てくれそうな人々に LINE する羽目になりました。どうやら皆さん忙しかったようです。仕方なし。しかし当日には NC の OB の方が飛び入り参戦してくださり(感謝)、4 人で明神祭を開催する運びになりました。

1. 概要

開催日: 11 月 1 日(日)

コース: 熱海駅→熱海峠→元箱根→仙石原→御殿場→足柄峠→駿河小山→明神・三国峠 →道志みち→橋本 (<https://ridewithgps.com/routes/34406354>)

距離: 143.7km

獲得標高: 上昇 3108m 下降 3033km

参加者(敬称略):

3 年 加賀 谷岡

OB 植田 井澤

2. 集合

当日は午前 8 時に熱海駅集合でした。参加登録があったのは加賀と井澤さんの 2 人だったので、今年は自分合わせて 3 人だけかと思っていたら、どこからともなく OB の植田さんが現れ参加していただくことになりました。最近サイクリングを再開して毎月 1000k ずつ走っているようで、出走前から僕が置いていかれる様子が想像できます。その後無事 4 人とも集合して、十分に補給を購入してから出走しました。

3. 熱海峠

熱海駅を出ると 1~2km 程度ですぐに熱海峠の入り口に差し掛かります。熱海峠は最初が

一番しんどいですが、それを乗り越えればあとは箱根峠へたどり着くまでは少し緩やかなのでなんとかなるだろうと思っていたら、最初の1kmぐらいで大幅に失速してしまいました。あ、あれ？と思いつつ必死に漕ぎ続けますが明らかに踏めておらず、仕舞いには後ろの加賀に心配されてしまいました。彼は最近好調らしく、僕が足を引っ張るわけにも行かないので皆さんには先に行ってもらい、去年明神峠を登ったときみたいなペダルの踏み方で登っていきます（どうして……）。

なんとか登り終えて十国峠のレストハウスに着くと、加賀と植田さんが待っていました（後に聞きましたが井澤さんはクリートが壊れたそうで、後ろからすぐに追いつきました）。2人とも結構待っていたようで、この先が思いやられます。そのまま箱根峠へと進み、芦ノ湖のセブンで休憩を取りました。

4. 足柄峠？

休憩を終え、御殿場方面へ向かいます。そんなに頻繁に自転車に乗っているわけでもないのにこの交差点だけは何回も通ってるなあ、と毎回感じるT字路の交差点を右折して坂を登っていたところで加賀が「名古屋に行くときはこの辺通るなあ」みたいな話を始めるので、誰がその話わかるんだと思っていたら井澤さんが共感していました。近所を散歩するノリで名古屋へ行かれては困ります。

御殿場までは大きな峠はなく多少のアップダウンを繰り返すだけでしたが、この区間で結構疲れました。少しゆっくり目に走っていたので申し訳ないなと思いつつも、逆に僕がどんなスピードで走っても後ろ3人がピッタリついてくるので極めて安心しながら進めました。

乙女峠を超えて御殿場についたところ、井澤さんが足柄峠周辺に通行止めがありそうというので、一旦コンビニで確認したところ、合流するところで確かに通行止めが出ていました（確認不足で申し訳ないです…）。小山からピストンする案も出ましたが、結局今年はそのまま明神峠に向かおうという話になりました。この時12~13時ぐらいで、こんな早くから明神峠に挑むのは初めてでした。

そうと決まればコンビニで昼ごはんを済ませて出走します。峠にたどり着く前から多少登り始めて、じわじわ体力を削られます。この途中で加賀が写真写真を撮ってくれました(図1)が、この写真を見て初めて植田さんが当時のなかよしジャージを着ていることに気づきました。井澤さんも1つ前のジャージを着ていて、各世代のジャージが見られて面白かったです。



図1. 明神峠に向かう様子

5. 明神峠

いよいよ明神峠に入ります。加賀と植田さんは少し先を走り、井澤さんとしばらく登っていました。植田さんが本当に小さいスプロケ（雪の宿みたいな大きさ）でゴリゴリ登るのでかなり驚きながら、自分も遅くならないよう後ろで頑張って漕ぎます。ただ、最初の熱海峠で限界な登り方をしていたことからお察しの通り、激遅で進みます。NCは3年になると体力が落ちるみたいなことを聞いたことがあり本当だな、と思いましたが加賀を見る限りむしろ体力が増える人も居るようですね。

しばらくすると井澤さんも見えなくなっていました（もしかしてクリート治りました？）。一人で死にそうになりながら漕いでいると、ドーナツ区間を越えたあたりで、後ろから追いかけてきたサイクリストが応援してくれたので、その人について行きながらなんとか県境までたどり着きました。あとは（比較的）緩めの坂を登ってやっと明神峠までたどり着きます。今までで一番キツく感じました…。

登り終えたあとは少し坂を下ったところで集合写真を撮ります。この日は割と曇りでしたが、いい背景で映ることができました(図2)。

集合写真を撮ったあとは山中湖のセブンで休憩します。早い時間帯だったので寒さは大丈夫かな、と思っていましたが、例年通り非常に寒かったです。



図 2. 富士山とともに

6. 道志みち

道志みちを下れば完走です。ラストに向けてセブンで準備をします。ここで井澤さんのチャリがパンク気味だったので、チューブを交換することに。しかし非常に小さな穴なのかチューブから原因となる穴が見つからず、このままだと途中でまたパンクしかねないということでタイヤも新しいものにする事になりました。タイヤもチューブも新しいから完璧だ、と井澤さんが言ったので、ホイールも替えなくて大丈夫ですか？って言おうとしたんですが、タイミングを見逃しました。しかし文字に起こすと何も面白くありませんね。命拾いしました。

準備が完了したので、橋本を目指して出走します。明神峠を登ったあとなので、多少の坂が平面に感じます。しかし体力が削られているので、下りの時間はなんととなりますが、登りでは流石にごまかせません。後ろの3人には申し訳ないですがゆっくり目に進みました。あたりも暗くなり、そんな中長い間下っていると、やっと街に出ました。なんとか橋本についたようで、前半に走りきれるか心配していた身としては心底ホッとしました。ここで井澤さんと植田さんは自走で帰るようで、僕は加賀と橋本から輪行で帰宅しました。

7. おわりに

今年も無事、明神祭を開催できました。人数が少なかったのが個人ランのような雰囲気でしたが、新鮮味がありとても楽しかったです。また今回で、定期的に自転車に乗らないと体力がつかないことも思い知らされました。最近は引きこもってばかりなのでちゃんと運動したいですね。

以上が今年度の明神祭の報告になります。参加者の皆さん、ありがとうございました！

編集後記

2年 小野智裕

こんにちは。広報・編集担当の小野です。記事を書いていただいた方にはこの場でお礼申し上げます。例年は11月に執行代の移行が行われ、役職も次の代へと引き継がれますが今年は執行代の移行を遅らせることになりました。そのため、本来この11月会報と轍の発行をもって広報・編集担当の仕事を終える所、もうしばらくの間会報の発行をさせていただくことになりました。引き続きよろしくお願ひ致します。

今年度はこの11月号を含めて3回しか会報を出せていませんが、会報を発行するたびに苦勞しているのが表紙写真を選ぶことです。例年通りにサークルのランや合宿が行えていれば、表紙写真の候補も豊富に得られていました。しかし、今年は公式ランも個人ランもほとんど行えなかったので写真のストックが少なく苦勞しています。一年前にこの役職に就いた時から表紙写真には拘ろうと思っていたのですが、思うようにできず残念です。

9月に新歓ランをはじめとしてサークル活動を再開し、11月には2月以来の定サイも行いました。どのランも店内飲食禁止などの制約はあったものの、久々にサークルの仲間に会えたのが嬉しく、些細なことに感じました。新歓や定サイを終えてようやく新入生を迎える事も出来たので、なんとかこのまま新型コロナウイルスの流行が収束に向かって欲しいと思います。